令和5年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職: 企画指導係主任
氏名: 笠原　悠

受入課室等名	研究振興局大学研究基盤整備課
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　□ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）
受入時期 受入期間	2月19日（月）　～　3月22日（金） 2週間 受入人数（受入時期内の合計受入数）：2人
選考時の面接の実施予定	予定あり □ 予定なし ○
受入条件	基本的なパソコン操作（ワード・エクセル・パワーポイント等）ができること。 学術研究行政に関する専門的な知識や技術は必要ありません。
実習内容	【各係の業務補助】 ・大学共同利用機関、共同利用・共同研究拠点等に関する各種データの集計及び分析 ・集計、分析結果を用いた資料の作成 ・各種会議の資料準備及び傍聴、会場設営の補助 【各係の課題への施策提案】 ・今後の共同利用・共同研究体制の在り方等を含めた大学の研究力強化のための方策について
受入課室等紹介	大学研究基盤整備課は、我が国の国力の源泉である大学における研究振興のため、研究大学の抜本的強化のための施策や、最先端の研究装置等を含めた研究活動に必要な基盤の強化に取り組んでいます。 【当課の主な業務】（以下の言葉を聞いたことがなくても問題ありません） ○大学の研究力強化に関すること ○個々の大学では整備できない大規模な施設・設備や大量のデータ・貴重な資料等を国内外の研究者が共同で利用して共同研究を行う「共同利用・共同研究体制」の強化 ○国立大学の附置研究所及び大学共同利用機関法人の教育や研究に関すること ○「すばる望遠鏡」や「ハイパーカミオカンデ計画」などの世界の学術研究を先導する大規模プロジェクトの推進 ○学術に関する研究設備に関すること ○大学ファンドに関すること 以上のとおり、当課では、分野を問わず、最先端の学術研究の推進に取り組んでいます。 共同利用・共同研究の仕組みや、学術研究の大規模プロジェクトの推進は我が国の学術研究の発展のための重要な仕組みであり、ノーベル賞につながる研究成果の創出にも貢献しています。
受入課室等からのひと言	当課の業務に関心があり、意欲のある方を歓迎します。 今後の進路選択の一助になれば幸いです。

令和5年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職: 企画調整係
氏名: 中村　聖

受入課室等名	研究振興局　基礎・基盤研究課
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　○ 高等専門学校(※1)　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）
受入時期 受入期間	2月19日（月）　～　3月22日（金） 3週間　～5週間 受入人数（受入時期内の合計受入数）：1人
選考時の面接の実施予定	予定あり □ 予定なし ○
受入条件	科学技術、特に基礎科学の振興にご関心のある方。 文部科学省での最前線の業務を体験して、深く理解したいと考えている方。 Word,Excel,PowerPointなどパソコンの基本操作ができる方。 **（※1）高等専門学校からの募集については、4～5年生の学生を対象とする。**
実習内容	基礎科学振興のために必要な取り組みを新たに企画・立案する業務を担当していただきます。 当課で担当しています、世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)の企画・運営や理化学研究所での組織運営等の取り組みも事例の1つとして参考にしながら、これまでにない新しい基礎研究振興に関する政策提案を幅広い視点から検討していただきます。 また、参加者の希望や関心を踏まえながら、 −素粒子科学技術及び原子核科学技術に関する業務（関連研究施設の視察、大型研究施設の老朽化・高度化に関する課題の検討等） −量子コンピュータなど最先端の量子技術の研究開発に関する業務 −数理科学と異分野の融合促進のための仕掛け検討、数理科学人材の多様なキャリアパス形成に向けた取組検討 等も実施する予定です。 ※研修では当課で実際に行っている業務を担当してもらいます。また研修期間全体を通して、様々な職員からの業務説明や意見交換の時間を設定する予定です。 ※研修最終日には、実習の成果発表を行う機会を設定する予定です。 ※具体的な実習内容については、参加者の希望等を考慮して計画しますので、興味・関心がある業務があれば、事前に記入してください。
受入課室等紹介	基礎・基盤研究課では、我が国の基礎科学の振興に向けて様々な業務にあたっています。 例えば世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)の企画・運営、数理科学や素粒子・原子核物理学研究といった基礎研究の振興、量子コンピュータなど最先端の量子技術の研究開発、理化学研究所や量子科学技術研究開発機構の組織運営等に関する業務まで幅広く担当しており、日頃から研究者等とも議論を重ねながら進めています。
受入課室等からのひと言	当課業務や職員との交流を通して、今後の進路選択や就職活動の際のヒントを見つけていただければ幸いです。文部科学省での最前線の業務を経験したいという、意欲のある方の御参加をお待ちしております。

令和5年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職: 専門職
氏名: 五十嵐博己

受入課室等名	研究振興局　研究振興戦略官付
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　□ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）
受入時期 受入期間	2月19日（月）　～　3月8日（金） うち2週間 受入人数（受入時期内の合計受入数）：1人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○
受入条件	Word、Excel、PPTが使えること。インターネットを用いた情報収集に慣れていること。 データ整理、情報収集、要約の経験がある学生（論文執筆経験のある学生等）を積極的に受け入れたい。英語での情報収集（インターネット検索）が可能なレベルの語学力があればなお良い。
実習内容	研究振興戦略官付では、下記の「受入課室等紹介」欄に記載している様々な業務を行っています。 具体の業務については、参加者の御希望等も考慮して計画しますが、感染症研究（ワクチン開発含む）等の事業推進のため、国内外動向調査、データ収集・分析、資料作成、研究者との意見交換や会議等の準備・傍聴等の実習に従事いただく予定です。
受入課室等紹介	【研究振興戦略官付の主な業務】 ○　感染症研究（ワクチン開発含む）に関すること ○　医療機器の研究開発に関すること ○　がん研究に関すること ○　ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラムに関すること ○　量子科学技術研究開発機構（がん、認知症等の革新的な診断・治療技術に関する研究開発）に関すること ○　福島国際研究教育機構に関すること
受入課室等からのひと言	先端医療分野に特化した専門的な知識や技術は必要ありません。研究推進のため、事業設計や情報分析に関心があり、意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております。